

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。さて、MUGC GSケイマン・ファンドーGS オーストラリア・ハイブリッド証券ファンド(以下「ファンド」といいます。))は、このたび、第3期の決算を行いました。

ファンドは、「オーストラリア・エンハンスト・インカム・ファンドⅡ」(2016年3月31日付で、ゴールドマン・サックス・オーストラリア・エンハンスト・インカム・ファンドⅡから名称が変更されました。)(以下「マスター・ファンド」といいます。))を通じて、主に豪ドル建てのハイブリッド証券(期限付劣後債、永久劣後債および優先証券)ならびに普通社債に投資することにより、インカム・ゲインおよびキャピタル・ゲインからなる長期的なトータル・リターンを追求します。

ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

	第3期末		第3期	
通貨クラス (表示通貨)	1口当たり 純資産価格	純資産総額 (単位:千)	騰落率 (%)	1口当たり 分配金額
米ドルクラス (米ドル)	5.98	59,912	-19.32	0.76
豪ドルクラス (豪ドル)	9.10	164,865	0.53	0.84
円クラス(為替ヘッジあり) (円)	9,337	10,775,094	-2.04	480

(注1) 1口当たり純資産価格および純資産総額には、取引を取引日翌日に反映するという原則に基づく数値が記載されており、計算期間の最終ファンド営業日当日に発生した取引を含んでいません。以下同じです。

(注2) 騰落率は、税引前の分配金を分配時に再投資したものとみなして計算しています。以下同じです。

(注3) 1口当たり分配金額は、税引前の分配金額を記載しています。以下同じです。

その他記載事項

運用報告書(全体版)は代行協会のウェブサイトで(www.gsam.co.jp)にて電磁的方法により提供しています。

ファンドの運用報告書(全体版)は受益者のご請求により書面で交付されます。書面での交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。



交付運用報告書

MUGC GSケイマン・ファンド

GS オーストラリア・ ハイブリッド証券ファンド

ケイマン籍／オープン・エンド契約型外国投資信託

米ドルクラス／豪ドルクラス／円クラス(為替ヘッジあり)

第3期

作成対象期間：2014年10月1日～2015年9月30日

代行協会員

**ゴールドマン・サックス・アセット・
マネジメント株式会社**

投資顧問会社

**ゴールドマン・サックス・アセット・
マネジメント・インターナショナル**

管理会社

ルクセンブルク三菱UFJ

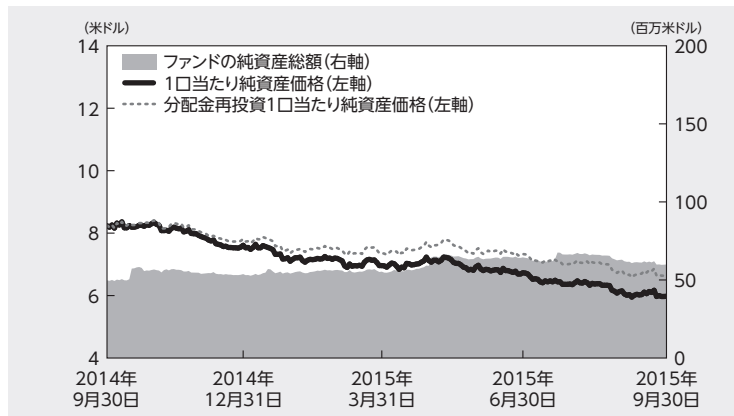
インベスターサービス銀行S.A.

※管理会社は、2016年5月1日付で、その名称をミツビシUFJグローバルカस्टディ・エス・エイからルクセンブルク三菱UFJインベスターサービス銀行S.A.へ変更しました。

運用経過

当期の1口当たり純資産価格等の推移について

■米ドルクラス



第2期末の1口当たり純資産価格

8.24米ドル

第3期末の1口当たり純資産価格

5.98米ドル(分配金額0.76米ドル)

騰落率

−19.32%

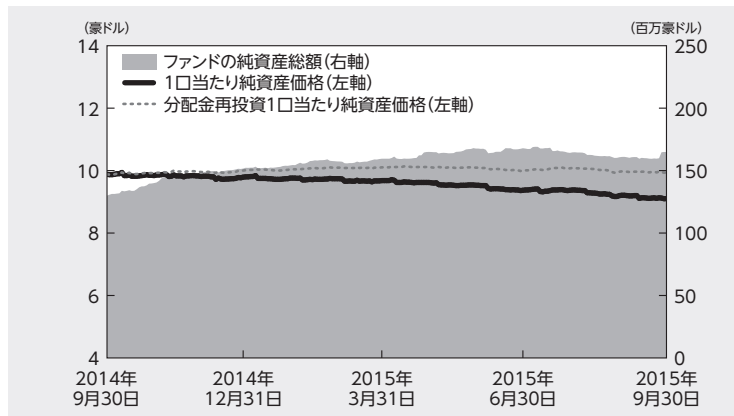
(注1) 分配金再投資1口当たり純資産価格は、税引前の分配金を分配時にファンドへ再投資したとみなして算出したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。以下同じです。

(注2) 分配金再投資1口当たり純資産価格は、第2期末の1口当たり純資産価格を起点として計算しています。以下同じです。

(注3) ファンドの購入価額により課税条件は異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注4) ファンドにベンチマークは設定されていません。

■豪ドルクラス



第2期末の1口当たり純資産価格

9.88豪ドル

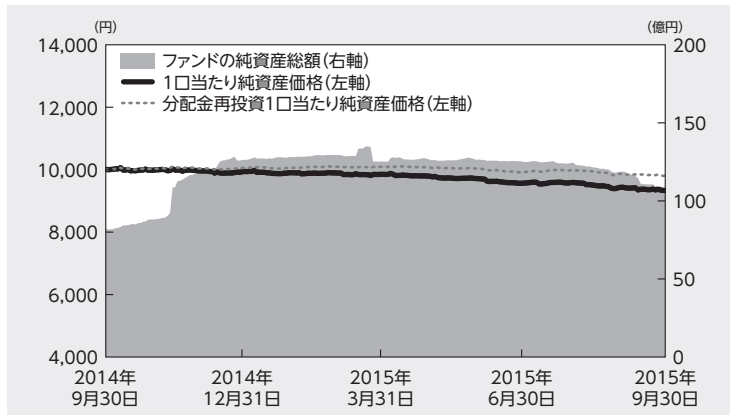
第3期末の1口当たり純資産価格

9.10豪ドル(分配金額0.84豪ドル)

騰落率

0.53%

■円クラス(為替ヘッジあり)



第2期末の1口当たり純資産価格

10,011円

第3期末の1口当たり純資産価格

9,337円(分配金額480円)

騰落率

－2.04%

●1口当たり純資産価格の主な変動要因

上昇要因

保有する債券からの利息収入などが、基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

豪ドル建てハイブリッド証券市場と社債市場のスプレッド(国債に対する上乗せ金利)がいずれも拡大したことなどが基準価額の下落要因となりました。また、分配金をお支払いしたことも基準価額の下落要因となりました。

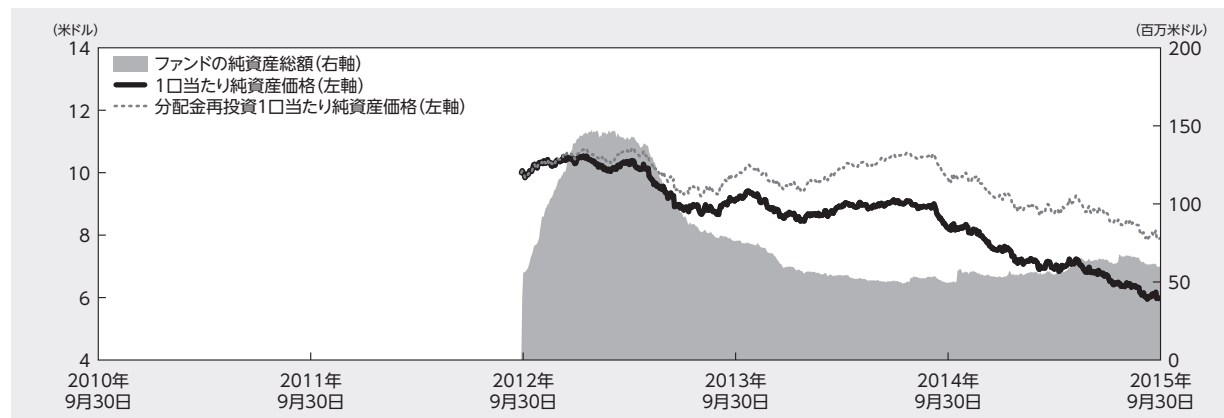
費用の明細

項 目	項目の概要	
管理報酬 (副管理報酬を含む)	ファンドの純資産総額の0.05%(年率)	ファンド資産の管理運用、ファンド証券の発行・買戻し業務に対する対価
受託報酬	ファンドの純資産総額の0.01%(年率)	ファンドの受託業務に対する対価
管理事務代行報酬 および名義書換事務 代行報酬	純資産総額	料率(年率)
	500百万米ドルまで	0.040%
	500百万米ドル超 10億米ドルまで	0.030%
	10億米ドル超	0.025%
投資顧問報酬	ファンドの純資産総額の0.80%(年率) 投資顧問報酬には副投資顧問会社に支払われる 副投資顧問報酬が含まれます。	ファンド資産の運用業務に対する対価
販売報酬	ファンドの純資産総額の0.80%(年率)	日本におけるファンド証券の販売・買戻しの取次業務に対する対価
代行協会員報酬	ファンドの純資産総額の0.03%(年率)	1口当たり純資産価格の公表、ファンド証券に関する目論見書、決算 報告書その他の書類の販売会社に対する交付等の業務に対する 対価
その他の費用(当期)	0.06%	設立費用、監査費用、弁護士費用、印刷費用、有価証券売買時の 売買委託手数料、保管費用 等 ファンドは、マスター・ファンドの無報酬クラスに投資することを予定 しており、マスター・ファンドの投資顧問報酬は負担しませんが、 その他の報酬(年率0.06%を上限とする管理事務代行報酬および 保管報酬が含まれます。)および費用を負担します。

(注) 報酬については、目論見書に定められている料率を記しています。[「その他の費用(当期)」]には運用状況等により変動するものや実費となる費用が含まれます。便宜上、当期のその他の費用の金額をファンドの当期末の純資産総額で除して100を乗じた比率を表示していますが、実際の比率とは異なります。

最近5年間の1口当たり純資産価格等の推移について

■米ドルクラス

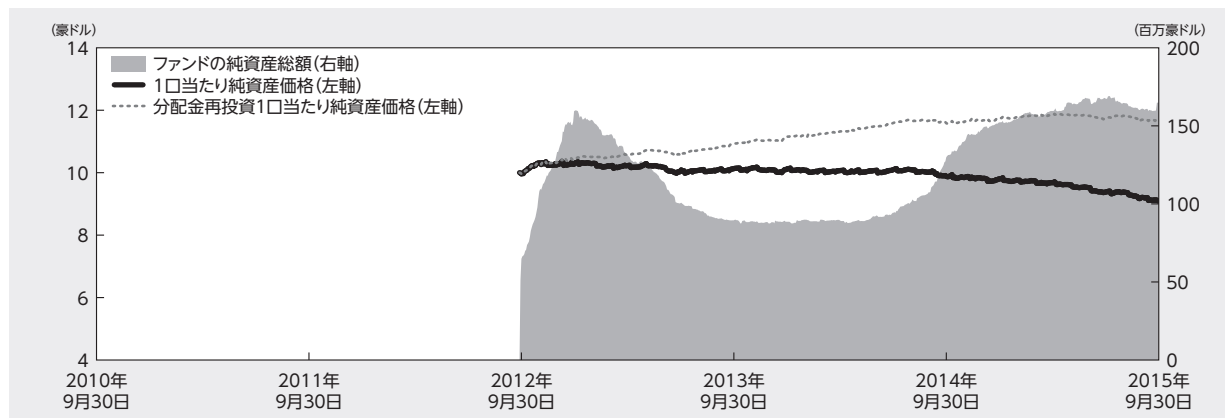


	—	—	設定日 2012年 9月26日	第1期末 2013年 9月30日	第2期末 2014年 9月30日	第3期末 2015年 9月30日
1口当たり純資産価格 (米ドル)	—	—	10.00	9.13	8.24	5.98
1口当たり分配金額 (米ドル)	—	—	—	0.77	0.84	0.76
騰落率 (%)	—	—	—	−1.22	−0.82	−19.32
純資産総額 (千米ドル)	—	—	39,958	76,380	49,744	59,912

(注1) 分配金再投資1口当たり純資産価格は、設定日(2012年9月26日)の1口当たり純資産価格を起点として計算しています。

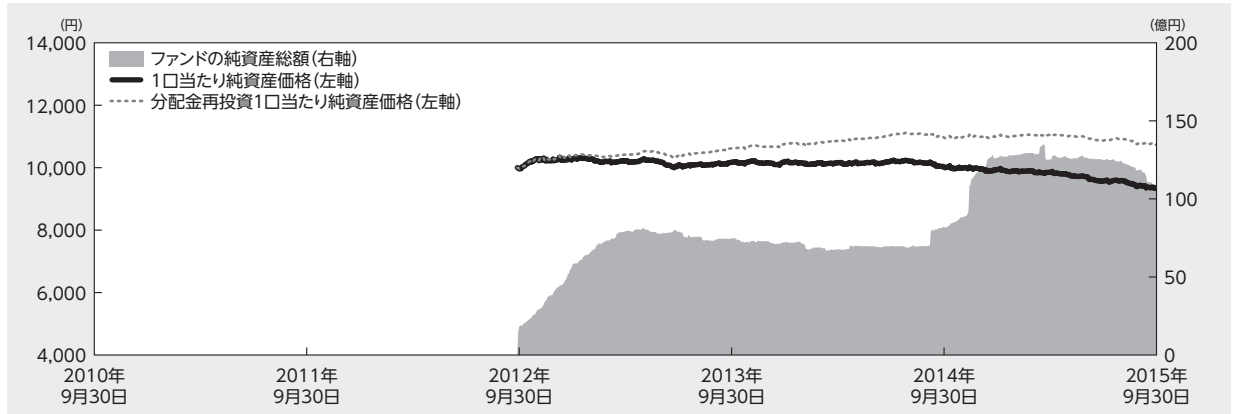
(注2) ファンドにベンチマークおよび参考指数は設定されていません。

■豪ドルクラス



	—	—	設定日 2012年 9月26日	第1期末 2013年 9月30日	第2期末 2014年 9月30日	第3期末 2015年 9月30日
1口当たり純資産価格 (豪ドル)	—	—	10.00	10.13	9.88	9.10
1口当たり分配金額 (豪ドル)	—	—	—	0.77	0.84	0.84
騰落率 (%)	—	—	—	9.26	6.02	0.53
純資産総額 (千豪ドル)	—	—	51,120	89,504	129,977	164,865

■円クラス(為替ヘッジあり)



	—	—	設定日 2012年 9月26日	第1期末 2013年 9月30日	第2期末 2014年 9月30日	第3期末 2015年 9月30日
1口当たり純資産価格 (円)	—	—	10,000	10,172	10,011	9,337
1口当たり分配金額 (円)	—	—	—	440	480	480
騰落率 (%)	—	—	—	6.21	3.18	−2.04
純資産総額 (千円)	—	—	1,496,114	7,469,784	8,184,214	10,775,094

投資環境について

当期は、主要先進国の10年国債利回りは概ね低下(価格は上昇)しました。米国では、原油価格の下落による期待インフレ率の低下に加えて、2014年12月の小売売上高の速報値が市場予想を上回る減少幅となったことや、同10-12月期の実質GDP(国内総生産)成長率が市場予想を下回ったことなどを受けて、2015年1月にかけて利回りが低下しました。その後、原油価格が反発したことや、市場予想を上回る経済指標が発表されたことで、年内の利上げ観測が高まった結果、期の序盤にかけて利回りが上昇する展開も見られましたが、中国の人民元切り下げなどを背景に世界的に株安が広がり、投資家のリスク回避姿勢が強まったことなどから、期末にかけて利回りは低下傾向が継続しました。オーストラリアでも、RBA(オーストラリア準備銀行)が政策金利を引き下げたことに加えて、中国経済の減速懸念や商品価格の下落などを背景に投資家心理が悪化し、国債利回りは低下しました。

外国為替市場では、米ドルに対して円安となった一方、豪ドルに対して円高が進みました。

米ドルは対円では、日銀の量的金融緩和の拡大や、ISM(米供給管理協会)製造業景況指数などをはじめ市場予想を上回る経済指標が発表されたことなどを受けて期初にかけて米ドルを買う動きが優勢となりました。一方、豪ドルについては期初にかけて円に対して上昇したものの、商品相場の下落や中国経済の先行き不透明感などを背景に円高豪ドル安が進行しました。

当期は、豪ドル建てハイブリッド証券市場と社債市場のスプレッドはいずれも拡大しました。独フォルクスワーゲンの排ガス検査をめぐる不正問題に加えて、原油をはじめとする商品市場の低迷や、中国の景気減速が世界経済に及ぼす悪影響などが懸念材料となり、スプレッドは拡大しました。

ポートフォリオについて

当期は、固定金利債券への投資比率を引き上げた一方、変動金利債券への投資比率を引き下げた結果、現金比率はわずかに上昇しました。割安感が薄れた銘柄の投資比率を減らした一方、割安感があるハイブリッド証券などを組み入れました。当期は引き続きファンド全体のデュレーションを概ね短めに維持しました。

分配金について

当期(2014年10月1日～2015年9月30日)の1口当たり分配金(税引前)は下表のとおりです。なお、下表の「分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額」は、当該分配日における1口当たり分配金額と比較する目的で、便宜上算出しているものです。

■米ドルクラス

分配日	1口当たり純資産価格 (米ドル)	1口当たり分配金額(米ドル) (対1口当たり純資産価格比率 ^(注1))	分配金を含む1口当たり(米ドル) 純資産価格の変動額 ^(注2)
2014年10月10日	8.17	0.07 (0.85%)	-0.45
2014年11月10日	8.06	0.07 (0.86%)	-0.04
2014年12月10日	7.66	0.07 (0.91%)	-0.33
2015年 1 月13日	7.53	0.07 (0.92%)	-0.06
2015年 2 月10日	7.12	0.07 (0.97%)	-0.34
2015年 3 月10日	6.95	0.07 (1.00%)	-0.10
2015年 4 月10日	6.94	0.07 (1.00%)	0.06
2015年 5 月11日	7.08	0.07 (0.98%)	0.21
2015年 6 月10日	6.83	0.07 (1.01%)	-0.18
2015年 7 月10日	6.44	0.07 (1.08%)	-0.32
2015年 8 月10日	6.41	0.03 (0.47%)	0.00
2015年 9 月10日	6.02	0.03 (0.50%)	-0.36

(注1)「対1口当たり純資産価格比率」とは、以下の計算式により算出される値であり、ファンドの収益率とは異なる点にご留意ください。

対1口当たり純資産価格比率(%)=100×a/b

a=当該分配日における1口当たり分配金額

b=当該分配日における1口当たり純資産価格+当該分配日における1口当たり分配金額

(注2)「分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額」とは、以下の計算式により算出されます。

分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額=b-c

b=当該分配日における1口当たり純資産価格+当該分配日における1口当たり分配金額

c=当該分配日の直前の分配日における1口当たり純資産価格

(注3)2014年10月10日の直前の分配日(2014年9月10日)における1口当たり純資産価格は、8.69米ドルでした。

■豪ドルクラス

分配日	1口当たり純資産価格 (豪ドル)	1口当たり分配金額(豪ドル) (対1口当たり純資産価格比率 ^(注1))	分配金を含む1口当たり(豪ドル) 純資産価格の変動額 ^(注2)
2014年10月10日	9.84	0.07 (0.71%)	-0.05
2014年11月10日	9.81	0.07 (0.71%)	0.04
2014年12月10日	9.72	0.07 (0.72%)	-0.02
2015年 1 月13日	9.75	0.07 (0.71%)	0.10
2015年 2 月10日	9.70	0.07 (0.72%)	0.02
2015年 3 月10日	9.66	0.07 (0.72%)	0.03
2015年 4 月10日	9.62	0.07 (0.72%)	0.03
2015年 5 月11日	9.55	0.07 (0.73%)	0.00
2015年 6 月10日	9.43	0.07 (0.74%)	-0.05
2015年 7 月10日	9.33	0.07 (0.74%)	-0.03
2015年 8 月10日	9.29	0.07 (0.75%)	0.03
2015年 9 月10日	9.11	0.07 (0.76%)	-0.11

(注1)「対1口当たり純資産価格比率」とは、以下の計算式により算出される値であり、ファンドの収益率とは異なる点にご留意ください。

対1口当たり純資産価格比率(%)=100×a/b

a=当該分配日における1口当たり分配金額

b=当該分配日における1口当たり純資産価格+当該分配日における1口当たり分配金額

(注2)「分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額」とは、以下の計算式により算出されます。

分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額=b-c

b=当該分配日における1口当たり純資産価格+当該分配日における1口当たり分配金額

c=当該分配日の直前の分配日における1口当たり純資産価格

(注3)2014年10月10日の直前の分配日(2014年9月10日)における1口当たり純資産価格は、9.96豪ドルでした。

■円クラス(為替ヘッジあり)

分配日	1口当たり純資産価格 (円)	1口当たり分配金額(円) (対1口当たり純資産価格比率 ^(注1))	分配金を含む1口当たり(円) 純資産価格の変動額 ^(注2)
2014年10月10日	9,989	40 (0.40%)	-82
2014年11月10日	9,965	40 (0.40%)	16
2014年12月10日	9,891	40 (0.40%)	-34
2015年 1 月13日	9,915	40 (0.40%)	64
2015年 2 月10日	9,868	40 (0.40%)	-7
2015年 3 月10日	9,844	40 (0.40%)	16
2015年 4 月10日	9,812	40 (0.41%)	8
2015年 5 月11日	9,750	40 (0.41%)	-22
2015年 6 月10日	9,635	40 (0.41%)	-75
2015年 7 月10日	9,545	40 (0.42%)	-50
2015年 8 月10日	9,521	40 (0.42%)	16
2015年 9 月10日	9,352	40 (0.43%)	-129

(注1)「対1口当たり純資産価格比率」とは、以下の計算式により算出される値であり、ファンドの収益率とは異なる点にご留意ください。

対1口当たり純資産価格比率(%)=100×a/b

a=当該分配日における1口当たり分配金額

b=当該分配日における1口当たり純資産価格+当該分配日における1口当たり分配金額

(注2)「分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額」とは、以下の計算式により算出されます。

分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額=b-c

b=当該分配日における1口当たり純資産価格+当該分配日における1口当たり分配金額

c=当該分配日の直前の分配日における1口当たり純資産価格

(注3)2014年10月10日の直前の分配日(2014年9月10日)における1口当たり純資産価格は、10,111円でした。

今後の運用方針

今後も引き続き、流通市場で割安に取引されている銘柄や、新規発行銘柄の組入れに注力します。オーストラリアの普通社債とハイブリッド証券の起債については、今後も活発な状況が継続すると見ており、引き続き新規発行および流通市場の状況を注視しながら、特にリスク対比で高い利回りを提供するハイブリッド証券の発掘に注力します。また、オーストラリアの主要銀行は自己資本を増強するなど財務基盤は健全で、それらにより発行されたハイブリッド証券の投資妙味は高いと見ています。

今後も引き続き投資方針に基づいて運用を行います。

お知らせ

●信託証書の変更について

運用報告書(全体版)について電磁的方法により提供するための所要の信託証書の変更を行いました。

(変更適用日:2015年7月31日)

●管理会社および副管理会社の名称変更について

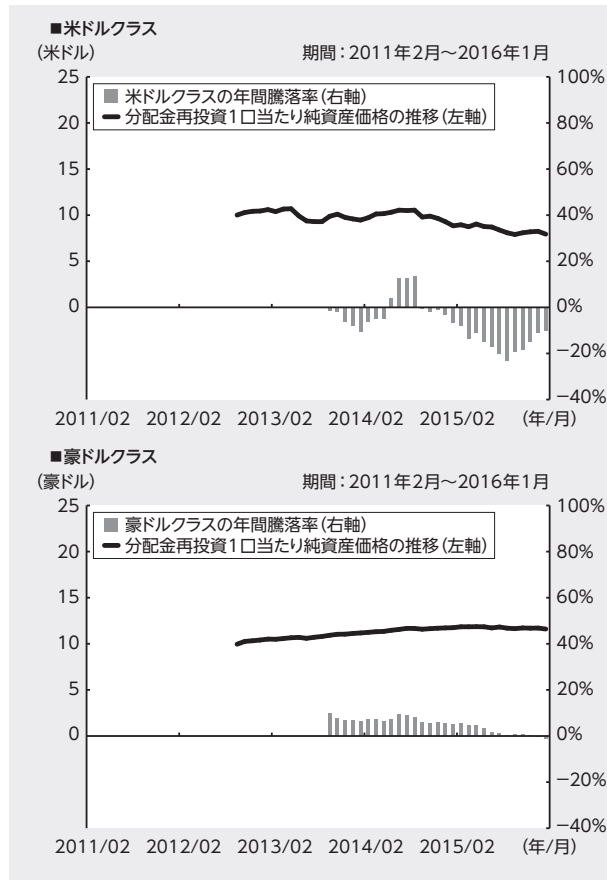
管理会社は、2016年5月1日付で、その名称をミツビシUFJグローバルカストディ・エス・エイ(Mitsubishi UFJ Global Custody S.A.)からルクセンブルク三菱UFJインベスターサービス銀行S.A.(Mitsubishi UFJ Investor Services & Banking (Luxembourg) S.A.)へ変更しました。

副管理会社は、2016年5月1日付で、その名称をエムユージーシー・ルクス・マネジメント・エス・エイ(MUGC Lux Management S.A.)からMUFGルクスマネジメントカンパニーS.A.(MUFG Lux Management Company S.A.)へ変更しました。

ファンドの概要

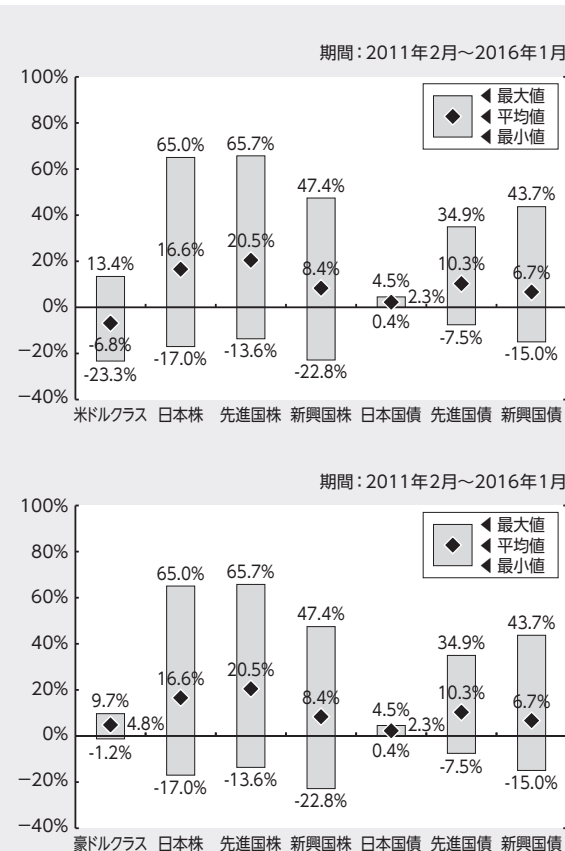
ファンド形態	ケイマン籍／オープン・エンド契約型外国投資信託
信託期間	2022年9月30日まで。ただし、下記「繰上償還」に記載の事由により早期に終了する場合を除きます。 (信託設定日:2012年9月26日)
繰上償還	ファンドは、以下の場合、2022年9月30日以前に終了することがあります。 (i) 特別決議により可決された場合 (ii) ファンドのケイマン諸島における規制ミューチュアル・ファンドとしての当局による許可または他の承認が廃止または改正された場合 (iii) 管理会社との協議を経た受託会社が、その裁量で、ファンドを継続することが現実的でなく、望ましくなく、または受益者の利益に反すると判断した場合 (iv) 受託会社が辞任した後、適切な代替または後継受託会社を確保できない場合 (v) ファンドの純資産価額が25百万米ドル相当を下回った場合、受託会社は管理会社と協議の上、ファンドを解散させることがあります。解散が決定した場合、受益者への通知は償還の30日前までに行われます。また、各ファンド証券の純資産価額が25百万米ドル相当を下回った場合には、受託会社は管理会社と協議の上、当該ファンド証券を償還することがあります。償還が決定した場合、受益者への通知は償還の30日前までに行われます。 (vi) マスター・ファンドが終了となる場合
運用方針	ファンドは、「オーストラリア・エンハンスト・インカム・ファンドⅡ」(以下「マスター・ファンド」といいます。)を通じて、主に豪ドル建てのハイブリッド証券(期限付劣後債、永久劣後債および優先証券)ならびに普通社債に投資することにより、インカム・ゲインおよびキャピタル・ゲインからなる長期的なトータル・リターンを追求します。
主要投資対象	マスター・ファンドは、通常の市況の下で、その資産(現金および現金等価物を除きます。)を、主に豪ドル建てで発行されるハイブリッド証券および普通社債で構成される分散されたポートフォリオに投資することを目指します。 マスター・ファンドは、その他の通貨建てで発行される証券に投資することができ、また、固定金利または変動金利の証券に投資することもできます。
ファンドの運用方法	ファンドは、マスター・ファンドを通じて、主に豪ドル建てのハイブリッド証券および普通社債に投資します。 マスター・ファンドは、その一般的な投資方針の一環として、金融デリバティブ商品(トータル・リターン・スワップ、指数先物、差金決済取引(CFD)、外国為替先物契約およびオプションを含みますがこれらに限られません。)についての取引を行うことができます。 マスター・ファンドは、エクスポージャーをヘッジするために、主に空売りすることにより、株価指数先物、銀行手形先物、政府債先物または普通株式についての取引を利用することができます。
主な投資制限	● 投資対象の購入、投資および追加の結果、ファンドの純資産価額の50%を超えて、金融商品取引法第2条第1項に規定される「有価証券」の定義に該当しない資産によってファンドの資産が構成される場合、かかる投資対象の購入、投資および追加を行わないものとします。 ● 私募証券、非上場証券または不動産等、すぐに現金化できない流動性に欠ける資産に対しその純資産価額の15%を超えて投資を行いません。 ● 空売りされる有価証券の時価総額は、ファンドの純資産価額を超えないものとします。 ● ファンドの純資産価額の10%を超えて、借入れを行わないものとします。 ● ファンドは、マネー・マーケット・ファンドにファンドの純資産価額の10%を超えて投資をしません。 ● 一の者に係る株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ取引等エクスポージャーのファンドの純資産総額に対する比率は、一般社団法人投資信託協会が発行した規則の第17条の2(以下「規則」といいます。)に記載される制限に従うものとします。当該制限を超えることとなった場合には、規則に記載される制限内となるよう投資対象の調整を行います。 *上記は通常の状況における投資制限であり、一定の条件の下で別の取扱いとなることがあります。
分配方針	原則として、毎月10日(ファンド営業日でない場合は翌ファンド営業日。以下「分配日」といいます。)に収益の分配が行われます。ただし、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

ファンドの年間騰落率および 分配金再投資1口当たり純資産価格の推移

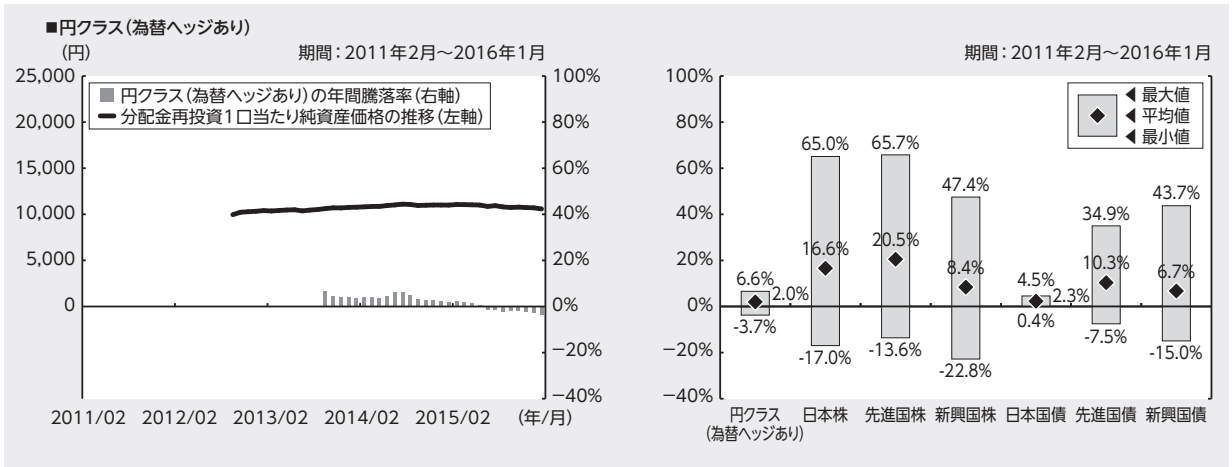


- 年間騰落率は各月末における直近1年間の騰落率を表示したものです。
- ファンドの設定日が2012年9月26日のため、左グラフの分配金再投資1口当たり純資産価格は2012年9月末以降のデータを表示する一方、左右グラフのファンドの騰落率については各月末の直近1年間の騰落率であるため、設定1年後の2013年9月末以降のデータを表示しています。

ファンドと他の代表的な資産クラス との騰落率の比較



- グラフは、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。
- 全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。
- 上記5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよびその他の代表的資産クラスについて表示したものです。ファンドにはベンチマークはありません。



- 年間騰落率は各月末における直近1年間の騰落率を表示したものです。
- ファンドの設定日が2012年9月26日のため、左グラフの分配金再投資1口当たり純資産価格は2012年9月末以降のデータを表示する一方、左右グラフのファンドの騰落率については各月末の直近1年間の騰落率であるため、設定1年後の2013年9月末以降のデータを表示しています。

●各資産クラスの指数

日本株: 東証株価指数(TOPIX) (配当込み)

先進国株: MSCI コクサイ・インデックス(配当込み、円ベース)

新興国株: MSCI エマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円換算ベース)

日本国債: NOMURA-BPI 国債

先進国債: シティ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)

新興国債: JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(円ベース)

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースまたは円換算ベースの指数を採用しております。

ファンドの分配金再投資1口当たり純資産価格および年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算した1口当たり純資産価格および当該1口当たり純資産価格の年間騰落率が記載されており、実際の1口当たり純資産価格および実際の1口当たり純資産価格に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

- グラフは、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。
- 全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。
- 上記5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよびその他の代表的資産クラスについて表示したものです。ファンドにはベンチマークはありません。

ファンドデータ

ファンドの組入資産の内容 (第3期末現在)

●組入上位資産

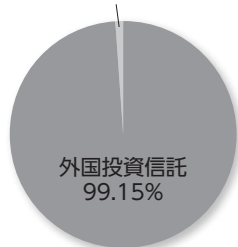
組入銘柄数1銘柄

	銘柄名	組入比率
1	オーストラリア・エンハンスド・インカム・ファンドⅡ	99.15%

(注)組入比率は純資産総額に対する各組入資産の評価額の割合です。以下、円グラフについても同様です。

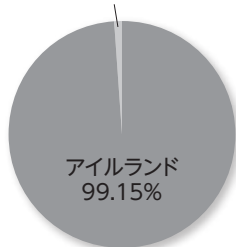
●資産別配分

現金・預金・その他の資産
0.85%



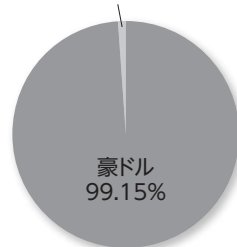
●国別配分

現金・預金・その他の資産
0.85%



●通貨別配分

現金・預金・その他の資産
0.85%



(注)組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

純資産等

項 目	第3期末
純資産総額	米ドルクラス 59,912,168.14米ドル
	豪ドルクラス 164,865,354.37豪ドル
	円クラス(為替ヘッジあり) 10,775,093,560円
発行済口数	米ドルクラス 10,012,346.40口
	豪ドルクラス 18,110,895.05口
	円クラス(為替ヘッジあり) 1,154,060.29口
1口当たり 純資産価格	米ドルクラス 5.98米ドル
	豪ドルクラス 9.10豪ドル
	円クラス(為替ヘッジあり) 9,337円

第3期			
通貨クラス	販売口数	買戻口数	発行済口数
米ドルクラス	7,083,728.95	3,106,480.39	10,012,346.40
	(7,083,728.95)	(3,106,480.39)	(10,012,346.40)
豪ドルクラス	8,194,864.28	3,241,215.43	18,110,895.05
	(8,194,864.28)	(3,241,215.43)	(18,110,895.05)
円クラス (為替ヘッジあり)	778,849.13	442,321.19	1,154,060.29
	(778,849.13)	(442,321.19)	(1,154,060.29)

(注1) () の数は本邦内における販売・買戻しおよび発行済口数です。

(注2) 販売口数および買戻口数には、当期の最終ファンド営業日当日に販売され買戻された口数は含まれていません。

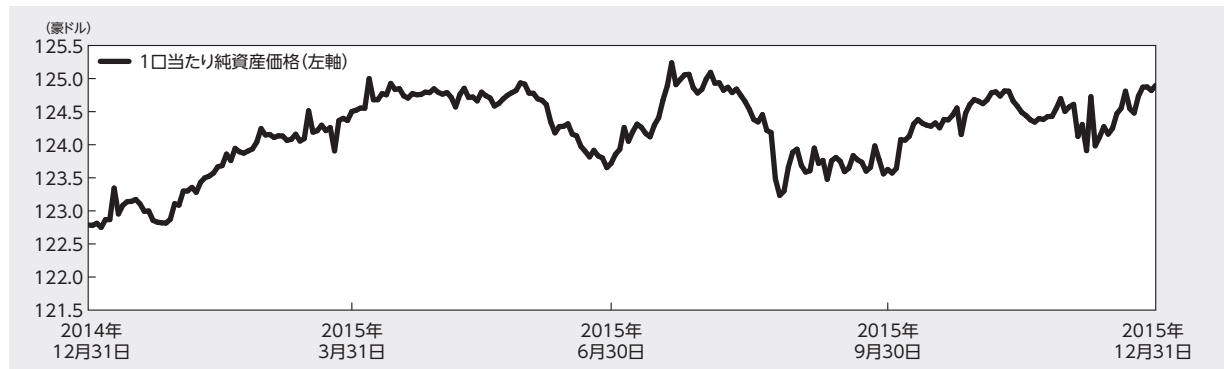
(注) 発行済口数は、当期末における1口当たり純資産価格の算出に使用された口数を記載しています。以下同じです。

投資先ファンドの概要 (2015年1月1日～2015年12月31日)

オーストラリア・エンハンスド・インカム・ファンドⅡ

*組入れファンドの決算は、年1回(毎年12月末)です。したがって、本報告書作成時点で入手可能な2015年12月31日時点までの状況をご報告申し上げます。

●投資証券1口当たり純資産価格の推移



●費用明細(単位:豪ドル)

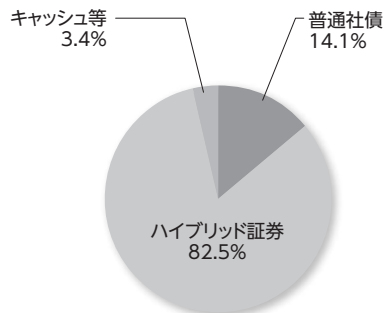
費用

オルタナティブ投資ファンド運用会社報酬	38,011
投資顧問報酬	70,391
管理事務代行報酬および保管費用	278,512
名義書換事務代行報酬	20,020
監査報酬	54,676
取締役報酬	3,802
弁護士報酬	66,923
保険費用	3,929
印刷費用	2,256
その他費用	30,540
費用合計	569,060

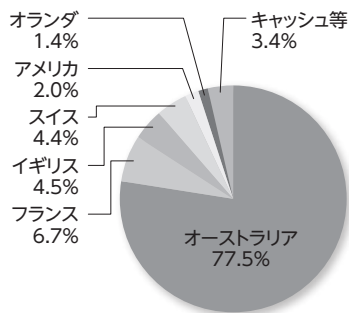
(注1)費用明細は本報告書作成時点で入手可能な組入れファンドの2015年1月1日から2015年12月31日までのものです。

(注2)費用明細は1口当たりの情報の入手が困難であるため、当外国投資信託証券の全てのクラスにかかった金額を表示しております。

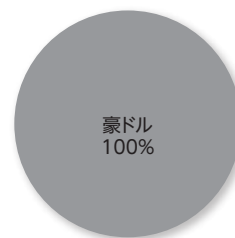
●資産別配分



●国別配分



●通貨別配分



(注) 上記円グラフには、四捨五入した比率を記載しているため、全資産の比率の合計が100%にならない場合があります。

●保有銘柄情報

(組入銘柄数:65銘柄)

上位10銘柄		組入比率 (%)
1	NATIONAL AUSTRALIA BANK	4.96
2	WESTPAC BANKING CORP	4.94
3	COLONIAL HOLDING CO LTD	4.58
4	GOODMAN PLUS TRUST	3.81
5	ELM BV (SWISS REIN CO)	3.35
6	CALTEX AUSTRALIA LTD	3.28
7	APT PIPELINES LTD	3.26
8	ORIGIN ENERGY LIMITED	3.11
9	AXA SA	2.84
10	MACQUARIE FINANCE LTD	2.74

(2015年12月末日現在)

(注) 上記の比率は全て組入れファンドの純資産総額に対する割合です。